

【グリーンカードについて】

- 今後もどんどん活用していく
- 審判員はもちろん大会役員、競技の方々も認識していく→競技運営側からチームに伝えてもらう。全員がグリーンカードの意味を共有する為。
- 県独自のカードを作成か？
- ラインジャッジの判定に対し選手がラインジャッジに向かいアウトを主張し、教育的指導に入ろうかとホイッスルで抑えたときにその選手がその場でそのラインズマンに謝罪した→試合終わってからも良いケース。その辺りのメリハリが大切。

【大会開催時における安全対策】

- 試合終了後ベンチ消毒→7～8割の県で実施。  
→消毒時間についてはインターバルに含めるかどうか→県に任せる。
- アップゾーンにいる選手の応援について→マスク着用であまり大声を出さないように。
- スコアラーにはサイン専用のペンを置く→私物と共有しない。
- ラインジャッジはマスク・簡易手袋またはゴム手袋着用。
- 電子ホイッスル活用→都道府県による。
- ホイッスルカバーについて→ユーチューブに手作り方法がアップされているので参考にしてください。手作り可。不織布マスク使用。不織布マスクを切ってホイッスルカバーをし吹笛する。
- 大会費(消毒等購入予算)でマスクも購入してもらい一試合ごとに変える。
- 夏は審判もセット終了時にスクイズ等で審判台の下あたりに置き水分補給をする。
- 床も消毒すると良い→そこからも感染リスクが考えられる為。
- ベンチの配置も蜜を避けるために二列にするなど変更可能。

【6人制重点目標】ジュニアの変更点

- 試合開始前のサーブ順確認の際でラインアップシートと選手の並びが違っていたら、ゲームキャプテンを呼び正しく直させる。今までは何番と何番が違うと教えていたが、ゲームキャプテンに確認する。

《全国大会》 8/10～8/13

《拡大ブロック》全国スポーツ少年団

開催県 島根県 大きく近い県から参加予定